



まきた 牧田っ子 NO19

がっこうきょういくもくひょう 学校教育目標

ひととふれあい、ともに学び
ひびき合う子の育成

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp./maki-e/>

TEL 378-0516 FAX 378-9530

おんせい 6年生、 めいぜんいん おも どりょこう 78名全員の思い出旅行となりました！

10/21(水)22(木)、6年生が修学旅行に行ってきました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、市内一斉に行き先が県内となり、例年とは異なる修学旅行となりました。

当日は、全員参加できるか心配しておりましたが、78名の児童が遅刻することなく集合でき、6年生全員で出発できました。

一日目は、おかげ横丁、伊勢神宮、ミキモト真珠島、鳥羽水族館の順に見学しました。班別行動での見学や万華鏡づくりの体験など、充実した一日となりました。旅館の食事豪華で、何度もおかわりをする姿を見かけました。また、夜はしっかり睡眠がとれたため、体調不良者なく二日目を迎えられました。あらためて、睡眠と食事の大切さを感じました。

こころあたたか
心温まる横断幕に見送られて出発！

ほんいん
班員そろって、ピースサイン



まんげきょう
万華鏡づくりも思い出の1ページになりました

ごうか しょくじ だいまんぞく
豪華な食事に大満足！ 「おかわり！」



二日目の朝は、曇り空で雨が心配されましたが、スペイン村での4時間15分の活動中、雨に降られたのは30分弱でした。6年生の思いが天に届いたのでしょう！何より二日間を通して、体調不良者が出なかったことが嬉しかったです。

この修学旅行で学んだ、“ルール・マナーを守ること”“みんなで協力し合うこと”などを、卒業までの学校生活にも活かし、6年生のさらなる成長を期待します！

なお、出発時には、6年生の保護者の方々に、心温まる横断幕で見送っていただき、『ありがとうございました！』引率者一同、感謝申し上げます。

お楽しみのスペイン村で～す

お天気にも、恵まれました！



5年生、牧田万博に向けて学習しました！



10/20(火)5・6限目、JICA中部で活躍されている、道藤さんと山本さんをお招きし、国際協力について、5年生が学習しました。

道藤さんは、アフリカのガーナ共和国で二年程、教員として、小中学校で理科と算数(数学)を教えられていました。お話の中で、ガーナの人々は、物に関しては決して豊かではありませんが、日々の生活では笑顔が絶えることなく、仲間と喜び合うことを大切にし、

授業中の発表で正解が出ると、みんなで拍手をすることです。

一方、山本さんは三年間、青年海外協力隊として、フィリピンの大学で電気を教えられていました。フィリピンは、たくさんの島でできているため、船での移動が多く、船の無線機が重要となります。そのようなことから、山本さんは電気の勉強の中でも、無線の技術を中心に教えられていたそうです。フィリピンでの生活で感じられたことは、「フィリピンの人々は家族や親せきをととても大切にする」、「お互いの違いを認め、その違いに寛容である」とのことでした。お二人がともに、おっしゃられた『日本には気づけない事を、海外での生活を通して気づくことができた』というお話がとても印象に残りました。5年生にとって、牧田万博での発表に向けた実り多い学習となりました。